

海外安全対策情報（平成27年10月～12月）

1 社会・治安情勢

(1) タジク・アフガン国境における銃撃戦の件数及び不法入国者数発表

10月13日、国家保安委員会は、最近の9か月間でタジク・アフガン国境における銃撃戦は19件で、10名のアフガン不法入国者及び6名のタジク不法入国者が死亡したと発表。不法入国者は計165名で、内アフガン国籍者31名、キルギス国籍者6名、タジク国籍者109名、ウズベク国籍者9名、ロシア国籍者8名、中国国籍者2名が拘束された。

(2) 2015年9ヶ月間の犯罪率発表

10月16日、タジク内務省によると、直近9ヶ月間の犯罪件数は1万6700件だった。重犯罪は4100件であり、前年同時期に対し、18.3%増加した。盗難は34.5%増加、押し入り強盗18.7%増加、殺人未遂及び殺人は5.9%増加、誘拐は10%増加した。2468件の経済犯罪が報告されており、昨対2.7%増で、賄賂は0.7%増加した。同犯罪の内、88.2%が解決している。

(3) ジョエフ元非常事態相支持者らの逮捕

11月5日、ジョエフ元非常事態相の支持者10名超が、9月に発生した反政府グループによる襲撃事件メンバーの証言により、逮捕された。同容疑者らは、ナザルゾーダ元国防次官グループ肅正後に仲間を増やし、反乱を起こそうとした。

(4) トルコからシリアへ違法渡航を目論んだタジク国籍者の逮捕

11月10日、トルコ・アダナ州で、シリアへの違法渡航を目論んだ外国人グループ38名が逮捕され、内2名がタジク国籍者であった。その他国籍は、アゼルバイジャン14名、インドネシア7名、イラク5名、キルギス5名、イラン3名、アフガニスタン2名。

(5) ISIL旗掲揚容疑のタジク国籍者7名の逮捕

12月1日、シャフリトゥーズ行政郡住民7名が公の場でISIL旗を掲揚し、ISILへのリクルート活動を行ったとして逮捕された。

(6) シリアに渡航したタジク国籍者数

12月14日、ゴルノ・バダフシャン自治州訪問中のラヒムゾーダ内相は、600名以上のタジク国籍者がシリア及びイラクでの戦闘に参加し、その内50名が祖国に帰還している旨発言した。

(7) タジク国境警備隊の新兵舎開設式の開催

12月15日、ハترون州ハマドニ行政郡及びシューローバード行政郡のタジク国境警備隊の新兵舎開設式が開催され、この他、ハترون州のタジク・アフガン国境前線における施設も公式に開設された。

(8) 当地米国大使館等におけるタジク人によるデモの発生

12月24日、当地米国大使館前において、カビーリー・イスラム復興党党首を擁護しているとして、15～20名のタジク人によるデモが発生した。また、11月19日にも同様のデモが当地米国大使館及び当地独大使館前で発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 内務省発表の2015年(1月～9月)犯罪認知件数の対前年同月比は以下のとおり。

(出典「国家統計局発行タジキスタン社会経済情勢2015年1月～9月」)

総認知件数	+10.0%	(注: -は統計なし)			
盗難	+34.5%	重犯罪	+18.3%	粗暴犯	-
うち侵入盗	+18.7%	うち殺人	+5.9%	傷害	-17.9%
ひったくり	+12.5%	強盗	-17.6%	乱闘	-13.2%
		誘拐	+10.0%		
		強姦	-19.4%		
経済犯	+2.7%	薬物事犯	-11.2%	道交法違反	+1.7%
詐欺	+18.0%			同起因死傷者	+0.7%
汚職	+0.7%				
各州における犯罪増減率					
ドゥシャンベ市	+5.4%	ソグド州	+17.3%		
ハترون州	+12.3%	ゴルノ・バタフシャン自治州			+15.2%

(2) 昨今、ロシア経済の低迷や移民送金の減少等の影響を受けてタジク国内経済は低迷しており、国内の各種一般犯罪が増加傾向にある。

また、当地ではインフレが進んでおり、農産品以外の生活必需品を他国からの輸入に頼る当地国民の経済生活に多大な影響を与えている。

このような中で、タジク政府は雇用創出等の対策に乗り出しているが、帰国者のための十分な雇用を確保するには至っておらず、生活苦を背景にした一般犯罪等の増加による治安悪化が懸念されている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特段の事案の発生はなし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件の発生はなし。

10月26日、トゥルスンゾータ市において、タクシードライバーによる邦人旅行者に対する強盗事件が発生。タクシードライバーは、小さなナイフを見せつけ金品を要求し、現金400ドル、パソコン等が入ったバッグを持ち去った。邦人旅行者にけがはなし。

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし。